

第2回 調布市地域経済対策会議要旨について

開催日：令和2年8月7日 午後3時から4時30分

場 所：市長公室

出席者：商工会（副会長・各部会・アドバイザー・事務局長）

市内金融機関（多摩信用金庫）、市（副市長、行政経営部長、産業振興担当部長）

1. 現状報告

【調布市】

・新型コロナウイルスの感染者の増加等に伴う営業時間の短縮要請などにより、事業経営は依然厳しい状況が続いている。今後の支援策について、優先して取り組む事業などを協議していきたい。

【商工会副会長】

・会員・非会員含め、新型コロナウイルス関連の補助金等の問い合わせが3ヵ月で400件以上ある。

【市内金融機関】

・新型コロナウイルス関係の融資は全店で1万件を超えている。申請は、ピークを越えた状況にあると思われるが継続的にあり、平均40%以上売り上げが減少している事業者が多数である。

2. 事業者支援策について

（1）実施中の事業

○プレミアム付商品券事業

【調布市】

・制度概要及び今後のスケジュール等について説明。

【商工会商業部会】

・インターネットで取扱店の申込み受付を行っている。ネットのメリットは、店舗及び事務局の事務処理の軽減や迅速な連絡が可能となり、災害時等にも活用できることもあり、新しいインフラの構築にもつながる。

○新型コロナウイルス感染症予防対策に対する助成事業

【調布市】

・制度概要等について説明。

【商工会事務局】

・直近では1日に15件から20件ほど問合せがあり、備品についての問合せが多い。特に備品単価3万円以上の要件について、問合せが多く（サーキュレーターやパーテーションなど単価が3万円未満等）合算を可とすることや単価を下げるなどの検討が必要。

○ものづくり製品化補助事業の拡充

【商工会工業部会】

・新製品開発7件・販売促進3件と例年より多い申請となり、予算を増額して事業支援する。

○地域共生推進ふれあい商店等補助事業の拡充

【商工会事務局】

- ・7月1日から補助率を引き上げているが、申請数はトイレ改修が2件・車いす購入やスロープ等が4件という現状で、申請数はまだ少ない。

(2) 優先して取り組む事業

○スクラッチ事業

【商工会商業部会】

- ・予算増額による事業拡充により、年末の歳末商戦等に期待したい。市民の利用を促し、地元経済が活性化するように進めていきたい。

○家賃支援給付事業（案）

【調布市】

- ・制度案について説明。

【商工会サービス業部会】

- ・給付金事業として、前年度比売上が50%減に満たないことで、国の給付金の対象とならない事業者への支援として、市独自の家賃支援給付はありがたい。
- ・様々な事業形態があり、自宅で事業を行っている場合も対象となるよう考えてほしい。

【市内金融機関】

- ・日々の売上で生計を立てている事業者も多く、売上げが上がらない中、家賃・人件費を含む固定費の支払いが負担となっている。また、1ヵ月から2ヵ月の売上等を踏まえ資金運用している事業者もあり、国や都の制度の対象とならない事業者に対する家賃支援策は有効である。

(3) 今後の感染状況等を踏まえながら検討する事業

○調布街バル事業

【商工会副会長】

- ・Go To Eatキャンペーン事業等との連携なども考えられる。

○テレワーク推進補助金

【商工会商業部会】

- ・テレワーク利用できる場所(深大寺周辺など)を提供する取組等も考えられる。

3. 協議結果

- 新型コロナウイルス感染症予防対策に対する助成事業の対象要件については、緩和できるよう協議し進める。
- 家賃支援給付事業については、事業実施に向けて取り組んでいく。
- スクラッチカード事業の拡充に向け予算確保に努め、事業実施に向けて取り組んでいく。

4. その他

- 今後、事業者の実態調査等も踏まえ、継続的に事業者支援策を協議していく。また、実態調査をする際には、調査項目などについて、意見を聞きながら進めていく。